

# DOMANI plus @愛知 「まなざしのありか」

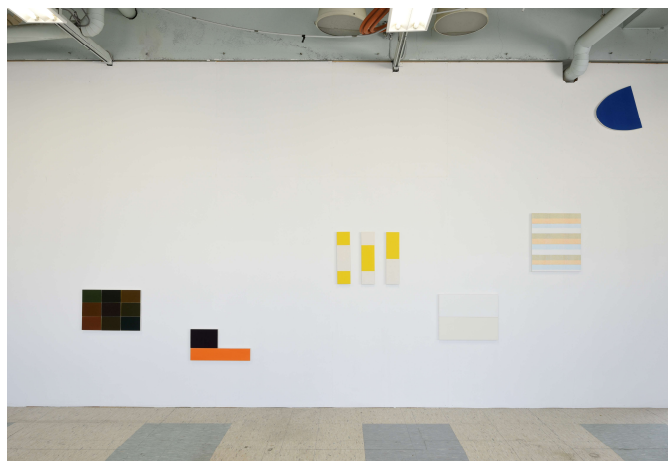
## 出展アーティスト紹介

おおつかやすこ  
**大塚泰子**

愛知芸術文化センター会場、愛知県美術館ギャラリーJ

文化庁新進芸術家海外研修制度 <在研>

現代美術、2009 年度（1 年研修）イギリス/エジンバラ



《space color -Obu-》 2017 年

とみいもとひろ  
**富井大裕**

愛知芸術文化センター会場、愛知県美術館ギャラリーJ

文化庁新進芸術家海外研修制度 <在研>

彫刻、2014 年度（1 年研修）アメリカ/ニューヨーク



個展「斜めの彫刻」展示風景 2020 年

Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京

撮影：柳場大

©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

1968 年広島県生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科  
絵画専攻版画修了。現在、愛知県を拠点に活動。

リトグラフ（石版画）の手法やクレパスなどの素材を  
用いて作品を制作する。平面や立体作品によって空間  
そのものを構成し、かたちのあるものがもつ「色」や  
「色の存在」そのものの新しい見方を提示する。

主な近年の展覧会に、「one moment blue (瞬間の青)」  
ケンジタキギャラリー、愛知（2021）、「ミュージアム  
との創造的対話 03 - 何が価値を創造するのか？」鳥取  
県立博物館（2020）、「アイチアートクロニクル展  
1919-2019」愛知県美術館（2019）、「Kaya no Soto」  
Hebel\_121, バーゼル、スイス（2019）、「Art Obulist  
2017」大府、愛知（2017）など。

1973 年新潟県生まれ。武蔵野美術大学大学院研究科彫  
刻コース修了。現在、同大学准教授。東京都を拠点に  
活動。

既製品や日常の風景を見つめることで、モノがもつ構  
造や造形を把握し、固定された本来の役割をとらえ直  
しながら、現代における彫刻のあらたな可能性を模索  
し続ける。実験スペース「壁ぎわ」、「はしっこ」世話  
人。

主な近年の展覧会に、「所蔵作品展『MOMAT コレク  
ション』」東京国立近代美術館(2021)、「練馬区立美術  
館開館 35 周年記念 Re construction 再構築」練馬区立  
美術館、東京(2020)、「引込線 / 放射線  
Absorption/Radiation」第 19 北斗ビル/所沢、埼玉  
(2019)、「アッセンブリッジ・ナゴヤ 2017」名古屋港  
～築地口エリア一帯、愛知(2017)、「アーティスト・フ  
ァイル 2015」国立新美術館、東京(2015)など。

ながしま ゆ り え  
**長島有里枝**

**港まち会場、港まちポットラックビル3 F**

文化庁新進芸術家海外研修制度 <在研>

写真、1998 年度（1 年研修）アメリカ/カリフォルニア



個展「家庭について / about home」展示風景 2016 年  
MAHO KUBOTA GALLERY、東京  
撮影：木奥恵三  
写真提供：MAHO KUBOTA GALLERY

1973 年東京都生まれ。カリフォルニア芸術大学ファインアート科写真専攻修士課程修了。武蔵大学人文科学研究科博士前期課程修了。現在、東京都を拠点に活動。社会で周縁化されがちな人びとや事象に、フェミニズム的視座から注目した作品を多く制作している。近年は写真だけでなく立体作品、映像、文章の執筆など、表現ジャンルを超えた活動を行っている。

主な近年の展覧会に、「長島有里枝×竹村京 まえ といま」群馬県立近代美術館（2019）、個展「知らない言葉の花の名前 記憶にない風景 わたしの指には読めない本」横浜市民ギャラリーあざみ野（2018）、個展「そしてひとつまみの皮肉と、愛を少々。」東京都写真美術館（2017）など。出版歴に、『僕ら』の「女の子写真」からわたしたちのガーリーフォトへ』大福書林

（2020）、『Self-Portraits』Dashwood Books（2020）など。受賞歴に、第 36 回東川賞 国内作家賞、北海道（2020）など。

ゲストキュレーターとして企画した展覧会「ごちない会話への対応策—第三波フェミニズムの視点で」金沢 21 世紀美術館、石川（2021）が開催中。

ふるはし  
**古橋まどか**

**港まち会場、旧・名古屋税関港寮**

文化庁新進芸術家海外研修制度 <在研>

彫刻、写真、インスタレーション、2017 年度（1 年研修）メキシコ/オアハカ、メキシコシティ



《El Nadir》(部分) 2019 年

1983 年長野県生まれ。英国 AA スクールで建築を学び、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート大学院芸術学科修士課程を修了。現在、愛知県を拠点に活動。

有形である物、無形の身体、エネルギー、労働などをリサーチの主題とし、滞在制作を基軸に活動。地域、場所、時間特性を反映する彫刻、インスタレーション、空間表現を手掛ける。

主な近年の展覧会に、個展「ナンセンス、無体物、スト的状況」板室温泉大黒屋、栃木（2019）、「Narratives of Exchange / Exchange of Narratives」アルノス財団、メキシコ・シティ、メキシコ（2018）、個展「Body Object Thing Matter」Yutaka Kikutake Gallery、東京（2018）、個展「Raw Material, Goods and Human Body」iCAN、ジョグジャカルタ、インドネシア（2017）、個展「Il Quarto Stato」クストハレ・ブレーシャ、ブレーシャ、イタリア（2015）など。受賞歴に、第 8 回資生堂アートエッグ賞ノミネート（2013）。